

吉田町の商店街中央を流れる多治比川は、『日本書紀』に記載されている“ヒノカワ”の支流といわれ、この川に架かる稲田橋の名もスサノオノミコト伝説に登場する“稲田姫”の名残といわれる。

このたびの事業は、魚巣ブロック、自然石、緑地帯を設けた環境整備であり、この整備により以前はいくら放流しても洪水で流されてしまったコイも居付き、河川法面は四季折々の草花の変化が楽しめ、庭園さながらの様相で、稲田橋から見える錦鯉も訪れる人々を楽しませてくれる。

また“川をきれいに”という住民意識もいっそう向上し、川と橋と遊魚園は、町民のふるさとの一部になっている。



所在地	広島県吉田町大字吉田字鯨多3669番地の2
諸元	延長：200m、幅員：27.4m
関係する施設など	魚巣ブロック、緑地帯
材料	自然石
イベント	管弦祭、土曜夜市、写生大会